



5月12日 JTSU-E 大地申第6号

## 2022年3月ダイヤ改正で生じた日光線及び宇都宮線(小山～黒磯)の輸送品質低下の改善を求める緊急申し入れ交渉開催！【その4】

1. 日光線及び宇都宮線（小山～黒磯）の通勤通学時間帯の混雑に対して認識を示すこと。
2. 混雑緩和に向けた輸送対策を早急を実施すること。
3. 輸送対策を実施するまでに以下の対策を行うこと。
  - ・朝夕通勤時間帯の列車については車掌を乗務させること。
  - ・鹿沼駅及び鶴田駅等のホームに通勤対策社員を配置すること。

### 組合

- ◆ 出来ることとは何か。減便ということか。
- ◆ 減便し続けたら利用者が減っていき、余計に経営が厳しくなる想定はないのか。
- ◆ 適正なサービスレベルで落ち着いたということか。人口減少に歯止めがかからず、将来を見据えて減便しておく、ということなのか
- ◆ 会社の経営状況も重々理解するが7時台に混んでる時間帯をどうしていくのか。早急にやるべきだ。
- ◆ 832Mを前に持ってくるということは、現段階で考えているのか。
- ◆ 車に移行したお客さまは、おそらく車内の混雑に対して辟易してしまったり、ダイヤ改正で時間が合わなかった、というところもあると思う。こういったお客さまを取りこぼすことで、地域の活性化は進んでいかないのではないかと考える。ここまで話題になっており、お客さまは混雑と時間設定が一番気にされている。
- ◆ 烏山線で、テスト期間中に臨時列車を走らせていると聞いており、例えば4月5月の混む時期、お客さまが慣れるまで臨時列車を走らせるなど、検討していくべきと感じているが。
- ◆ 日中帯ではなく、問題になっている7時台に絞った対策は不可能なのか

### 会社

- 減便も含めて。ご利用状況に合わせて列車を設定して、固定費を下げて会社は存続していく。
- ニーズに応えた結果がご利用状況に合わせて設定されている。ご利用に合わせて本数・編成を決めさせていただいている。
- 今回新車が入ったが、新車を作れば何年も持つ。将来を見据えて投資は、し続けていく必要性はある。
- 一番混んでいるのは826Mだが、高崎線という宮原～大宮間よりは混んでいない。
- 現段階では何も決まっていない、これから考える。826Mは少しずつではあるがゴールデンウィークが明けて、少しずつお客さまが慣れてきた。年間を通して140%、150%なるのであれば、問題意識を持たなければいけない。
- 日光線は学校の授業時間に列車を合わせなければいけない、という制約があり簡単には変えられない。学校の時間を調べたりヒアリングをして、自治体とも連携している。やれるのであれば柔軟にやりたいが、学校の始業時間はコントロールできるものではなく固定されてしまう。単線なのでできることは限られてしまう。簡単に大幅に変えるというのが中々できないというのが現状があり、代わりに丁寧な対応していく。
- 日中帯に要請があれば、前向きに考えていきたいと思っている。烏山線でやっているのは13時20分頃で、日中帯だと余裕もあるので、そこはさせていただいているというところ。
- 限りある資源を最大限に使っており、朝は車両の本数が足りない。